



2羽のかわいいペンギンたち

比和自然科学博物館公開講座・8/29

比和自然科学博物館と宮島水族館との交流事業として、フンボルトペンギン2羽と触れ合える公開講座「宮島水族館からペンギンがやってくる！」が開催されました。毎年両館でそれぞれが出張講座を行っており、今回の講座には、市内外から113人が参加しました。

初めに水族館スタッフが、ペンギンの成長していく様子や、生息する場所など、映像を交えながら解説しました。映像の中では、あまり聞く機会のないペンギンの鳴き声なども聞くことができました。

その後、触れ合いの時間が設けられ、参加者は緊張しながらも「温かい、つるつるしている」とうれしそうにペンギンたちと触れ合っていました。



▲映像を交えた説明の様子



▲ペンギンと触れ合う参加者

夏から秋の山野草

比婆山の植物

No.6

「比婆山のブナ純林」や「熊野神社の老杉群」など豊かな自然を有する比婆山では、夏から秋の山野草が見頃を迎えています。

比婆山では尾根筋で日当たりのよい草原に生え、夏の山野草の一つであるイヨフウロや秋の七草の一つであり、日本を代表する美しい花であるカワラナデシコなどが、かわいらしい花を咲かせ夏から秋への変化を感じさせます。また、これからの時期はブナやカエデをはじめとするさまざまな木々が紅葉を迎え、赤や黄色へ鮮やかに染まる比婆山を見ることができます。

秋の紅葉・行楽シーズンに、比婆山の登山やトレッキングで汗を流しながら自然の美しさを楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲カワラナデシコ

平和な世の中のために

平和学習・8/6

No.5

総領小学校で、本年度で75年目となる「広島原爆の日」に全児童が集まり、平和学習を行いました。

広島市で行われた平和祈念式典をテレビで視聴したほか、地域で活動をしている「おはなしファンファン」の皆さんによる大型絵本の読み語りを聞きました。また坂田邦彦校長からは「お互いを尊重し、相手も自分も大切にすることが大事である」という話がありました。平和学習の最後には、各学年に分かれて、平和への願いを書いた折り鶴を、1人1羽ずつ折りました。

児童は「絵本の中でもあったように、相手に優しくすると、優しい反応が自分にも返ってくる。平和のために自分に何ができるかを考えたい」と話していました。



▲大型絵本の読み語りの様子

感染症対策のために

アルコール消毒薬の寄贈受納式・8/12

新型コロナウイルス感染症の終息が見込まれない中、広島みどり信用金庫からアルコール消毒薬が市へ寄贈されました。

今回の寄贈は、広島みどり信用金庫が1920年に庄原信用金庫として創業し、本年創業100周年を迎えたことに伴う記念事業の一環として行われたものです。庄原市および三次市へそれぞれ500ミリリットル入りのアルコール消毒薬400本が寄贈されました。

受納式では、広島みどり信用金庫の光永義則理事長から消毒薬が手渡され、木山市長は、感謝とともに「感染症から市民生活を守る取り組みにおいて、有効・適切に活用していきたい」と話しました。



▲寄贈された400本のアルコール消毒液

踊りで育む！

表現力講座・9/8

No.3

東城町森のぼんぼこ山保育園は、子どもたちの表現力講座としてストレッチやバレエ、ダンスなどを行っています。この講座は元宝塚歌劇団員の雛とも予さんを講師に招き、毎月2回実施されています。

子どもたちは好きな動物のポーズで体をほぐし、バレエの基本的な動作やリズムダンスなどでいろいろな表現を楽しんでいます。

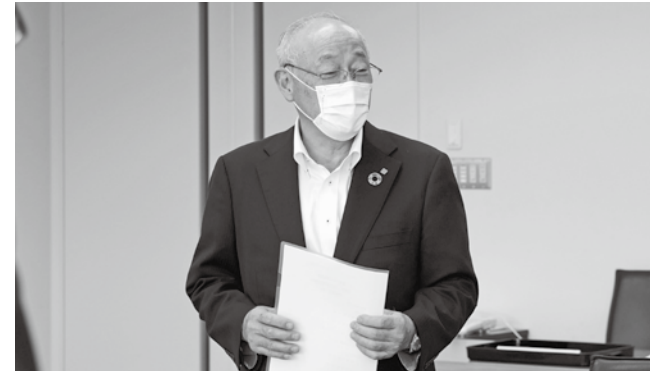
参加している子どもたちからは「明日のバレリーナが、楽しみすぎて待ちきれんよー！」「エビフライのポーズしたい！」と話し、毎回の講座を楽しみにしています。



▲楽しく踊る子どもたち



▲光永理事長（右）から木山市長へ消毒薬が手渡された



▲創業100周年の思いを語る光永理事長

磨いた技で地域に貢献

刃研ぎ・9/9

No.2

高野町新市のやまぶきサロン会場で、「たかの刃研ぎ隊」の皆さんにより「刃研ぎ」が行われました。

「たかの刃研ぎ隊」は、3年前に上高自治振興区が、地域の方々の経験や技を生かせる場を作りたいと、大工をしていた方に相談したのがきっかけで、有志3人により結成されました。これまで年1～2回のペースで、各家庭から依頼された刃物を研いでいます。今回は、包丁や鎌など約50本を、持参した砥石や電動工具を使って手際よく丁寧な研いでいました。

刃研ぎの依頼をした人たちは、こびりついたさびが取り、ピカピカになった刃を見て「すごい！きれいになっている」と口々に感心し、とても満足した様子でした。



▲たかの刃研ぎ隊による刃研ぎの様子